

日本社会分析学会ニュースレ

タ ー 2018年2号 [2018年6月27日発行]

発行：日本社会分析学会事務局

〒753-8511 山口市吉田1677-1

山口大学人文学部 桑畑研究室内

編集責任者：桑畑 洋一郎(事務局長)

Tel:083-933-5242(研究室直通)

E-mail: sasa@jsasa.org

ホームページ: <http://jsasa.org/>

郵便振替口座:01740-0-49579

(名義)日本社会分析学会

※『社会分析』45号をお届けします。同封物をご確認ください。

※第135回例会プログラムをお届けします。皆さま奮ってご参加ください。

※今回の例会は山口地域社会学会様との共催となっております。

※7月28日(土)例会前に**理事会**を開催します。次の方々をご出席ください(敬称略)。

[会長・理事] 三隅、稲月、加来、高野、辻、徳野、山本(努)、[監査] 山下(亜)、益田
理事会のご出欠、お弁当の要・不要を7月10日までに、メールで事務局にお知らせください。

●第135回研究例会のご案内

歓迎の言葉

横田尚俊(山口大学)

7月28・29の両日に、6年ぶりに、第135回研究例会を山口大学でお引き受けすることになりました。当初は、前回(2012年7月の第123回)同様に、山口大学吉田キャンパス・人文学部棟を会場として使用し、本ニュースにて、市内・湯田温泉界隈の宿泊情報を提供するつもりでいました。ところが、ちょうどこの両日に、山口市内で、(のべ3万人以上を動員するといわれる)大規模音楽イベントが開催されるため、市内のみならず隣接する防府市や宇部市のホテル・旅館まで、すでに予約でほぼ満杯だとの情報が入ってきました。

会場を県内他市の公共施設に変更する、研究例会の開催日程を変更する、などの代替案も検討しましたが、市内にある県の宿泊棟付き研修施設、山口県セミナーパークを両日とも利用できることが判明しました。そこで、急遽、三隅会長や事務局とも相談した上で、研究例会会場をそちらへ変更することにしました。

山口県セミナーパークは、おもに自治体職員の研修や県が主催するイベントなどに使用される施設で、現在は、公益財団法人山口県ひとづくり財団によって管理されています。山口市南部に位置し、およそ30ヘクタールの広大な敷地に、研修棟のみならず、体育館や運動公園、植物園などの施設が配置されています。緑豊かで静穏な環境にあり、宿泊施設も完備されているため、研究例会に心置きなく集中できる環境だと言えるかもしれません。反面、会場が市街地から離れており、路線バスなど公共交通の便もないため、マイカーで行くか、最寄りの新山口駅よりタクシーを利用するしかアクセスの方法がありません。そこで、28日のお昼(研究例会開始前)と29日午後(閉会后)に、新山口駅ーセミナーパーク間の送迎バスを手配しましたが、今回は例会終了後に、会員どうし、町中で酒を酌み交わしながらフランクに議論をしたり、温泉につかって疲れを癒したりするというような楽しみを味わうことは困難となります。皆様にさまざまな面でご不便をおかけする点を、山口大学の会員スタッフ一同、心よりお詫び申し上げる次第です。

引き受け校の現状についても簡単に触れておきます。3年ほど前、山口大学人文学部は、2学科5講

座 8 コース制から 1 学科 5 講座 5 コース制（哲学、歴史学、社会学、日本・中国言語文学、欧米言語文学）へと改組しましたが、おもに文学・言語学系の講座・コースを再編・統合したもので、社会学講座・コースの形はそれ以前と変わっておりません。学部定員は 1 学年 185 名で、社会学コースには 3・4 年生合わせて 70 名あまりが所属しています。教員スタッフに関しては、現在、社会学系教員 4 名、民俗学・文化人類学系教員 3 名の計 7 名が社会学コースに所属し、学部および大学院の専門教育に携わっています。このうち、高橋征仁教授、速水聖子教授、桑畑洋一郎准教授、それに私の社会学系教員 4 名全員が、当学会の会員です。昨年 10 月に当学会事務局長の桑畑准教授を新たなスタッフとして迎えたため、ご承知のように、現在は日本社会分析学会事務局の所在地も山口大学人文学部内となっています。他部局では、アドミッションセンターの林寛子准教授も会員です。

研究例会をお引き受けするにあたり、前回と同様に今回も、山口地域社会学会との合同研究例会としたい旨を当学会にお願いしたところ、快くご了承をいただきました。山口地域社会学会の概要については、第 123 回研究例会開催時のニューズレターですでに紹介しましたが、その後当学会に入会された会員の方もいらっしゃいますので、今一度、簡単に触れておきます。

同学会は、「知と地域の架け橋」をキャッチフレーズに、2002 年 10 月に設立された小さな学会です。当時山口大学に在籍しておられた三浦典子先生、辻正二先生らのご尽力により発足したという経緯もあって、事務局はずっとわれわれ社会学の研究室に置かれています。現在、会員数は約 50 名ですが、大学の研究者のみならず、行政や市民活動団体の関係者などもメンバーとなり、地域の現状と地域社会が抱える課題の分析をめざして、年 2 回（昨年度までで通算 44 回）の研究例会開催と学術雑誌『やまぐち地域社会研究』（昨年度で第 15 号）の刊行を二本の柱に、活動を続けています。ちなみに、会員の所属、研究対象は山口県内に限定されませんので、当学会の会員で興味をおもちの方がおられましたら、ぜひこちらへの入会もご検討下さい。今回の合同研究例会により、2 つの学会の交流がさらに深まることを期待する次第です。

両日は、前述の経緯により、新山口駅周辺の混雑も予想されます。7 月末という猛暑の時期に、異例の交通不便な会場での開催となりますが、1 人でも多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

★ 第 135 回 日本社会分析学会例会／第 45 回山口地域社会学会例会プログラム ★

日程：2018 年 7 月 28 日（土）～7 月 29 日（日）

会場：山口県セミナーパーク

報告会場：研修室 101（28 日）、研修室 102（29 日）

〒754-0893 山口県山口市秋穂二島 1062）（URL <http://www.hito21.jp/seminarpark/>）

※持ち時間は S の場合 30 分（報告 20 分：質疑 10 分）、L の場合 60 分（報告 30 分：質疑 30 分）が標準です。レジュメや資料は 35 部程度ご準備ください。報告にてプロジェクターが使えます。

7 月 28 日（土）

日本社会分析学会理事会 11:10～12:00（研修室 207）、山口地域社会学会総会 11:30～（研修室 101）
開 会 12:10

自由報告部会 I・第 45 回山口地域社会学会例会（12:10～13:45）（研修室 101）

1. 「中国における個人情報保護の立法の動向——個人尊厳と公共性との協調の視点から」（S）
周 小稚（山口大学大学院）
2. 「台湾のオルタナティブスクールに関する公設民営モデルの分析」（S）
王 美玲（淡江大学）
3. 「内藤莞爾の社会学その 2——村落調査から末子相続研究へ」（S）
三浦 典子（山口大学名誉教授）
＝Coffee Break（5 分）＝

自由報告部会Ⅱ (13:50～15:20)

1. 「現代中国都市の地域社会—青島の事例」 (S) 佐々木 衛 (神戸大学名誉教授)
 2. 「北九州市のフィリピン人の社会的ネットワーク」 (S) 津村 江美 (北九州市立大学大学院)
 3. 「朝鮮半島系巫俗の受容—日本人信者に注目して」 (S) 吉田 全宏 (大阪市立大学大学院)
- =Coffee Break (5分)=

自由報告部会Ⅱ (15:25～17:25)

1. 「自己家畜化と若者の変化」 (S) 松本 悠祐 (山口大学大学院)
2. 「自己組織性と圏論」 (S) 大山 智徳 (広島郵便局)
3. 「社会人基礎力と『社会人基盤力』の関連—社会科学系大学生のキャリア形成」 (S) 佐々木 武夫 (西南学院大学)
4. 「地域における障害児親の会の活動実践が意味するもの」 (S) 山下 亜紀子 (九州大学)

総会 (17:25～18:15)

懇親会 (18:30～20:00) セミナーパーク内食堂 (会費: 有職者 5000 円、有職者以外 3000 円)

※食堂は 20 時までの利用となります。その後は食堂前ラウンジ (飲食可) が 22 時半まで使用可能です。

7月29(日)

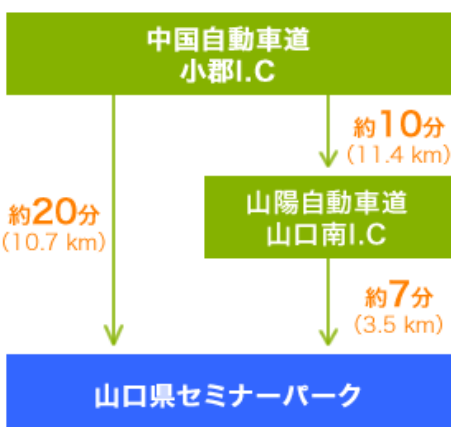
自由報告部会Ⅲ (9:30～12:35) 研修室 102(※初日とは会場が変わります)

1. 「社会的就労支援事業に対する住民の意識」 (S) 稲月 正 (北九州市立大学)
 2. 「オーディエンスのライフストーリーとメディアサービス価値に関する考察」 (L)
須藤 修司 (北陸先端科学技術大学院大学) ・ 伊藤 泰信 (北陸先端科学技術大学院大学)
- =Coffee Break (5分)=
3. 「『コミュニティカフェ』活動による地域社会の関係性形成の現状と課題—福岡市東区の事例から」 (S)
李 妮洳 (九州大学大学院)
 4. 「山間地の日常型移動の変化—中津江村 1996—2016 年」 (S) 加来 和典 (下関市立大学)
 5. 「『高出生率地域』における子育てネットワーク—徳之島・伊仙町を事例として」 (S)
益田 仁 (中村学園大学)

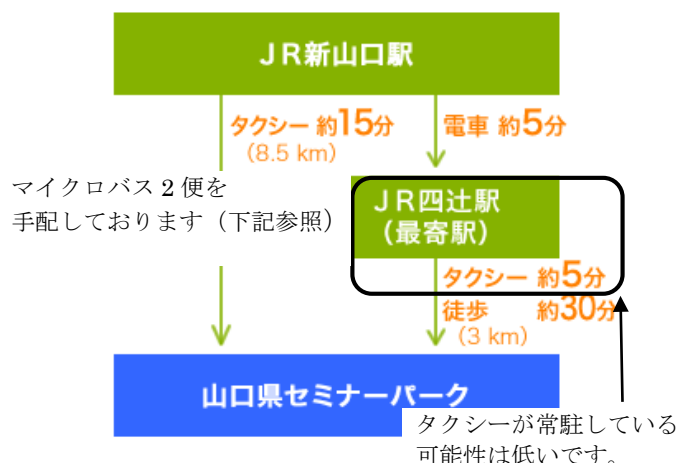
閉会 12:35

●会場までの交通案内 (<http://www.hito21.jp/seminarpark/access.html> より)

<自家用車でお越しの場合>



<公共交通機関でお越しの場合>



※28日(土)は新山口駅発セミナーパーク着マイクロバスを2便(10:40 発と 11:40 発。乗り場は新幹線口(南口)を出てすぐの貸切バス乗り場です)、29日(日)はセミナーパーク発新山口駅着マイクロバスを1便(12:50 発)手配しております。その他急遽ご移動が必要な場合は桑畑までご相談ください。タクシー会社は下記等です。

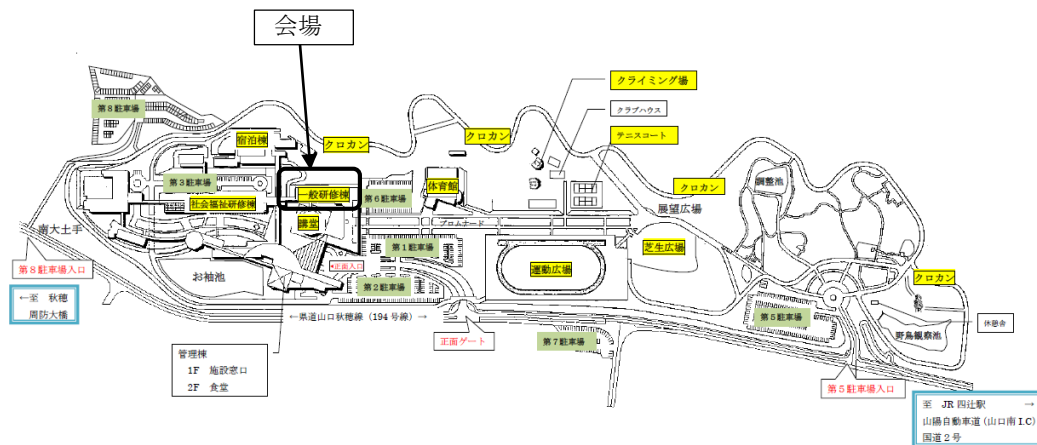
※タクシー: 湯田都タクシー (083-922-0310) 大隅タクシー (083-922-0860)。料金約 2500 円 (片道)。

●**宿泊**

「歓迎の言葉」にございますとおり、大規模音楽イベントと日程が重なったため、山口市内のホテルが非常に取りにくくなっております。つきましては、セミナーパーク内宿泊施設が利用可能ですので、ご宿泊を希望される方は、事務局（sasa@jsasa.org）へ7月3日（月）までにお申し込みください。1泊1500円～1800円で、朝食が360円～410円となります。

●**会場案内図** (<http://www.hito21.jp/seminarpark/equipment/>より)

山口県セミナーパーク全体配置図



研修室 位置図

